

| | | | | |
|--------|---|--------|------|--|
| 学校教育目標 | 商業に関する専門的な知識・技術を習得させることによって、社会に広く貢献できる商業のスペシャリスト(有為な人材)を育成する。 | | 重点目標 | ① 文武両道 ・高度な資格取得ができる指導体制の確立 ・全国レベルで活躍できる部活動の指導確立 ② 礼法指導(礼儀と作法) ・「おもてなしのこころ」の育成 ・「礼を重んじるこころ」の育成 |
| めざす学校像 | ① 明るく元気で生き生きとした学校 ② 地域に信頼される学校 ③ 知性と感性を磨く学校 | めざす生徒像 | | |

| | | | | |
|-----|--------|----------|-----------|---------|
| 達成度 | A・・・達成 | B・・・概ね達成 | C・・・やや不十分 | D・・・不十分 |
|-----|--------|----------|-----------|---------|

| 自己評価 | | | | | 学校関係者評価 | 総括 | |
|--------------------|---------------|--|--|-----|---|---|--|
| 番号 | 評価項目 | 具体的方策と指標・基準等 | 目標達成状況及び取り組み状況 | 達成度 | 次年度に向けた改善策 | 意見・要望・評価等 | |
| 1 | 地域貢献 まちおこし | ・活力あふれる高校づくり推進として米商物産館を開催 ・商業を体験的に学ぶ機会として、地域との交流20回以上。 ・ボランティア活動で1人1回以上の参加を目指す | ・米商物産館は10月6日に伝国の杜広場にて開催、実務経験と充実感を得る。 ・科目「観光ビジネス」「課題研究」、生徒商業研究部などの活動において、ビジネスに関する知識・技術の指導を多数回受ける。 ・ボランティア活動に参加した生徒184名。(除雪ボランティアの依頼はなかった) | B | ・米商物産館の周知は、パブリシティ等を活用して更なる認知度向上に取り組む。 ・地域との交流において、講師招聘の回数を更に増やし、実社会を多く学ばせる。 ・地域住民対し、ボランティアへの参加体制があることをPRする。 | ・米商物産館はリスクを伴う本物のビジネス体験として評価する。 ・活動の成果を全校生や地域の方々に知ってもらう方法を考えてほしい。 ・高校生の力を地域に生かしてほしい。 | ・学校評価に関するアンケート結果によれば、保護者・教職員ともに本校の教育活動全般に対して、概ね良い評価を与えられている。しかしながら、学校と保護者との意思疎通など、項目によっては低い評価もあることから、学校からの情報発信を積極的に進める必要がある。 ・図書館の環境整備に関して良好な評価をする生徒は多いが、それに比して書籍の貸出や放課後の利用など積極的になされているとは思えないことから、利用拡大のためのPRを図る必要がある。 |
| 2 | 開かれた 学校づくり | ・PTA総会への出席率、60%以上を目指す ・保護者全員に年1回以上来校してもらう ・クラス懇親会を各クラス年1回以上行う | ・41.0%出席 ・保護者の70.9%が1回以上来校した ・全クラスでクラス懇親会を行った | C | ・多くの保護者が出席できる魅力あるPTA総会の開催 ・学校行事を多くの保護者に伝えていく ・年度の早い時期に懇親会を開催する | ・PTA各クラス4名の協力体制を確立させて欲しい。 ・ホームページを随時更新して欲しい。 | |
| 3 | 部活動と 資格取得 | ・全国で活躍する生徒を育成する ・全商主催検定1級3種目以上合格を40名以上とする ・日商簿記2級合格者30名以上 | ・ホッケー、珠算、情報処理、簿記、英語が全国大会 ・1級3種目以上合格34名 ・日商簿記2級合格20名 | B | ・全国での入賞と部活動の統廃合 ・放課後の特別講習のみならず、日々の学習改善を図り強化する。 | ・統廃合は急務である。 ・分かる授業への取り組みと、合格率の向上に努めて欲しい。 | ・商業高校としての特色を強く打ち出すため、商業に関する資格取得に、今後も力を入れる必要がある。 |
| 自己評価及び学校関係者評価の改善点等 | | ・自己評価と学校関係者評価との関連性を明確化し、委員の方々に評価していただく機会を多く設定する。 ・できるだけ参加していただける委員の選出を行う。 | | | | | |